

なめがわ 議会だより

第 109 号

発行
滑川町議会
平成25年5月1日

責任者
議長 田幡宇市
編集

議会広報発行対策特別委員会
比企郡滑川町福田750-1
TEL 0493(56)2211
FAX 0493(56)5522



滑川幼稚園に入園しました

◎3月定例会

会期日程	2 P
町長施政方針・総括質疑	3 P
予算審査特別委員会 Q & A	4 ~ 5 P
平成24年度一般会計補正予算・特別会計補正予算	6 P
その他の議案	7 P
自治功労者表彰・町人事	8 P
一般質問	8 ~ 12 P
政務調査費が政務活動費へ	13 P
特集・編集後記	14 P

第185回 3月定例会

平成25年3月定例会は、3月5日に召集され、8日間の会期で開かれました。今議会は、平成25年度予算を中心に、条例改正、補正予算など、提出された38の議案を慎重に審議し、全てを原案どおり可決しました。

一般質問は、4名の議員が登壇し、町政全般にわたり質問しました。

会期日程

3月5日（開会） 本会議

・ 諸般の報告 田幡議長

・ 比企広域市町村圏組合議会報告 伊東副議長

・ 小川地区衛生組合議会報告 上野（憲）議員

・ 行政報告並びに施政方針 吉田町長
小澤教育長

・ 全議案の一括上程、説明 森田泰雄議員
上野憲子議員

・ 総括質疑 森田泰雄議員
上野憲子議員

・ 一般質問 森田泰雄議員
上野憲子議員
大山尚美議員
上野 廣議員

3月6日 一般質問

3月7日・8日 特別委員会

・ 予算審査特別委員会
3月11日・12日 本会議
・ 議案審議
・ 審査報告

25年度 各会計予算規模(当初予算)

(単位：千円)

区 分	平成25年度(A)	平成24年度(B)	増減額(A-B)	前年度比(%)
一 般 会 計	5,278,000	5,490,000	△212,000	△3.9
国民健康保険特別会計	1,431,000	1,473,000	△42,000	△2.9
介護保険特別会計	903,000	799,633	103,367	12.9
後期高齢者医療特別会計	106,000	101,281	4,719	4.7
下水道事業特別会計	443,000	486,000	△43,000	△8.8
農業集落排水事業特別会計	82,000	308,000	△226,000	△73.4
浄化槽事業特別会計	154,000	0	154,000	皆 増
水道事業企業会計	488,792	511,977	△23,185	△4.5
合 計	8,885,792	9,169,891	△284,099	△3.1

吉田町長施政方針

町民皆様の力強いご協力をいただき、11年目を迎えることができました。今日までの10年5カ月の間、町政を担う重責から、誠心誠意、町政運営に当たってまいりました。

平成25年度も「福祉」「教育」「環境」「平和」の4本柱を基調に、町民の目線に立ち、将来の滑川町を見据えた「真に豊かさを実感できる町づくり」に取り組んでまいります。

今後も変わらぬご支援、ご協力を心からお願い申し上げ、新しい年度を迎えるに当たっての施政方針といたします。

事業の概要

1. 総務関係
 - ・町勢要覧の作成委託料
 - ・羽尾表集会所新築工事設計業務委託
 - ・防災訓練の実施
2. 福祉関係
 - ・子ども・子育て支援事業計画の策定に伴う調査委託
 - ・高校修了時までの子ども医療費の無料化
 - ・出産祝金及び各種予防接種の継続
 - ・健康づくり団体への補助
 - ・森林公園年間パスポート券の購入補助
 - ・第6期高齢者保健福祉・介護保険事業計画の策定委託
3. 農林関係
 - ・中尾下田地区、羽尾中部地区及び山田地区の土地改良事業及び福田両表地区調査委託
4. 土木関係
 - ・伊古地区の町道201号線舗装補修及び町道103号線道路改良工事
 - ・月輪地区の町道258号線道路改良工事
 - ・六軒地区の狭あい道路整備工事
5. 環境関係
 - ・家庭用太陽光発電システム設置に助成
 - ・放射能汚染対策の継続
6. 教育関係
 - ・子育て支援として学校給食費の無償化を継続
 - ・滑川中学校にプレハブ校舎を増設
 - ・宮前小学校プール新設工事実施設計委託

平成25年度

総額

88億8,579万2千円

(前年比2億8,409万9千円減)



総括質疑 Q & A

滑川町役場における臨時職員の対応について

Q

豊かさの実感できる社会づくりを旨とする滑川町にとって、行政をうけもち、住民の生活を助ける役場職員の充実は大切な問題です。公務員の定数については削減にむけて、国・県・地方とも世間の厳しい目をむけられています。

各種の仕事が国から地方に移管され、専門性を有する人材を必要とします。しかし、職員を増員できない中で臨時職員の役割は重要となっています。昨年、臨時職員の募集がありました。今後の対応についてうかがいます。

A

新年度は14名の臨時職員を新規に採用します。今後は期間任用とし、登録された方の中から必要な条件に見合う方を選考し、採用していきます。

コミュニティセンターの建て替えは

Q

コミュニティセンター、または町民会館は必要な建物です。箱物は要らないと言う声もありましたが、第四次総合振興計画・後期基本計画に示されています。

建設計画をどのように考えていますか。

A

- ① 生涯学習の拠点としての機能を優先した整備をする。
- ② 多目的利用可能な会議室や集会室を多く設置する。
- ③ 完成後はコミュニティセンターは取り壊す。
- ④ 25年度は建設計画を主軸において外部の有識者を交えて建設検討委員会の立ち上げを予定しています。

Q&A 予算審査特別委員会



長谷川委員長・高坂副委員長（審査中）

平成25年度当初予算審査にあたり、特別委員会を設置しました。

特別委員会は、議長を除く13名で構成し、委員長には長谷川元夫委員、副委員長に高坂清二委員を選出し、一般会計予算を始め、各特別会計予算6件、企業会計（水道事業）予算1件につき、二日間にわたり、一人40分の持ち時間範囲で質疑応答を行いました。通常の本会議と異なり、執行部の答弁には各課長の他、担当部署の職員が配置され、詳しい説明がありました。

慎重な審査の状況をQ&Aで報告いたします。

議案番号	件名	審査結果	備考
第26号	平成25年度滑川町一般会計予算の議定について	可決	賛成全員
第27号	平成25年度滑川町国民健康保険特別会計予算の議定について	可決	賛成全員
第28号	平成25年度滑川町介護保険特別会計予算の議定について	可決	賛成全員
第29号	平成25年度滑川町後期高齢者医療特別会計予算の議定について	可決	賛成全員
第30号	平成25年度滑川町下水道事業特別会計予算の議定について	可決	賛成全員
第31号	平成25年度滑川町農業集落排水事業特別会計予算の議定について	可決	賛成全員
第32号	平成25年度滑川町浄化槽事業特別会計予算の議定について	可決	賛成全員
第33号	平成25年度滑川町水道事業会計予算の議定について	可決	賛成全員

電算システムにおける情報漏えい対策は

Q ウィルス対策機器及びシステム保守委託料や借上料が計上されていますが、町の情報は安全なのですか。

A ウィルス対策として、すべてのパソコンに対策ソフトを使用し、また、セキュリティ対策システムにより操作監視を行っています。また、通信回線上にファイアーウォールを設置し、外部との通信を制御しています。現在まで、でき得る限りの対策を実施し、情報漏えい事案は1件も発生していません。

※ファイアーウォール 外部との通信を制御し、内部のコンピュータネットワークの安全を維持するソフトウェア。

ファミリーサポート事業の利用状況

Q 昨年からのファミリーサポート事業が始まりました。昨年の利用状況は、10名利用しました。緊急サポートの利用者はいませんでした。

A ※ファミリーサポート事業とは
 ・保育所や幼稚園、放課後児童クラブの送迎や預かり、習い事の送迎等の活動を行います。対象は0歳から小学校6年生までの子ども子ども一人につき1時間700円～800円。病児受け入れの緊急サポートもあります。

副読本の活用は

Q 文科省は震災後、小・中学校の児童・生徒向けの副読本、「原子力・エネルギー教育」を再改訂し小学校は「わくわく原子力ランド」中学校は「原子力ワールド」を配布しました。学校現場においてどのように活用、利用しているのですか。

A 今、大変問題になっている内容です。各学校では関係ある教科の中で取り入れて学習に利用しています。

福祉タクシース券をより利用しやすく

Q 福祉タクシース券利用の助成を受けている人数、また年間何枚の利用が可能ですか。

A 現在66人が対象者で、年間一人36枚発行しています。

Q 一回の乗車で一枚の使用と決まっていますが、状況により、複数枚使えるようにして欲しいという要望もありませんか。

A 利用料金助成事業は、以前は埼玉県の事業でしたが廃止されたため、今は町単独で助成しています。利用方法は使い勝手が良いように検討していきます。

子ども・子育て支援は

Q 新規事業である子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査業務委託料238万7000円の内容は。

A 町では平成22年度に次世代育成支援行動計画（後期計画）を策定し、実施しています。26年度までの5年間のものです。27年度から国の方針で、「子ども・子育て支援事業」が行われることになりました。

この事業の計画策定を行うにあたり、ニーズ調査を事前に実施し、業者へ委託します。その委託料です。

ターナちゃんグッズ今後は

Q 今年もターナちゃんグッズ販売代金30万円が計上されていますが。

A 昨年末大好評でしたので今年も引き続きターナちゃんTシャツ等を販売して行くことにしています。その代金です。



ターナちゃんグッズ

宮前小学校のプールの新設設計の内容は

Q 宮前小学校プール新設設計委託料として500万円が計上されています。今までもプールと体育館を一体として移転する考えなどがだされてきましたが、体育館はどのように考えていくのですか。

A 宮前小学校のプールは老朽化がすすみ、早期の改善が必要となっています。今までもいろいろな意見をうけていますので、作る場所も含め、検討をします。

子ども110番の家の役割

Q 子ども110番の家の謝礼として、12万6000円が計上されていますが、町内に何ヶ所の家が依頼しているのですか。

A 小学校3校のために協力ををいただいている家は、現在103軒となっています。

Q どのような内容なのですか。

A 生徒・児童が助けを求めた場合の保護及び警察への通報や雨宿り協力・用便等の申し出があった場合のトイレの提供等です。謝礼は1軒あたり1000円位です。

国民健康保険税について

Q 国民健康保険税の算定方式を平成26年度に県単位レベルで2方式で行うことになっているというところについて昨年うかがいました。

A 滑川町もこの中で同方式を取り入れるとのことですが、昨年の説明と同じで、所得割と均等割の2方式で滑川町も変更について進めているところです。

商工会加盟店の活性化のために商品券を

Q 敬老年金710万円が計上されていますが内容は。

A 75歳以上の14200人で、1人あたり5000円となっています。

Q 大型店の誘致により、消費者にとっては、一ヶ所で買物がすみ便利ですが、町内小売業者等ではお店を閉じる所が多く見られます。町内業者の活性化のために、3000円を現金に、2000円は町内商工会加盟店の商品券とする案についての考えは。

A 大変良い考えですので、今後検討してまいります。



滑川町地域通貨券（見本）

医療給付費分

(滑川町の現在の税率)		(現在は実施自治体で決定)	
4方式		2方式	
所得割	6.5%	所得割	—%
資産割	40.0%	均等割	—円
均等割	9,800円		
平均割	19,200円		



子ども110番の家標識

平成24年度 一般会計補正予算・特別会計補正予算



指定地域密着型サービス事業について

Q 指定地域密着型サービス事業、いわゆるグループホームが開設されました。そのことによる条例制定ですか。

A 介護サービスの基盤強化のため介護保険法の一部が改正され、介護サービス事業申請者の法人格の有無に係る基準を市町村条例で定めることとされたことによります。



地域密着型サービス事業所「大笑庵」

図書館費の修繕料は

Q 図書館費の中に修繕料として13万5000円計上されていますが。

A 「滑川町立図書館」の銘板を正面につけます。図書館入り口の右側壁には付いていますが、正面に無いために、住民の方から分りにく

いとの意見がありますので、銘板をつけます。

狭あい道路解消に向けて

Q 町道の構造等の基準を定める条例案では、第3種5級道路には待避所を設けることとなっていますが、いわゆる狭あい道路に設けることと解釈していいのですか。

A その解釈で結構です。町では、狭あい道路の解消をはかるため、昨年度から六軒地区で狭あい道路解消事業を実施しております。新年度でも引き続き事業を推進していきます。

Q 狭あい道路の全線を対象に解消するとすると、相当の時間と費用がかかります。当面の不便を早期に解消するために、狭あい道路に待避所を設けることが良いと考えますが。



車両一台がやっと通れる道路

A 条例制定を機に、今後の指摘のように待避所設置の検討を必要に応じて進めていきます。

福祉タクシー利用料金助成事業給付費について

Q 一般会計補正予算、社会福祉費の扶助費で30万9000円を増額計上されていますが、福祉タクシーとガソリンの補助の2本を補助制度でやっていたと思います。

A ガソリンは県の補助が一度切れた時に、町も一年間実施しなかった時期がありました。が、利用者の要望で復活したと認識しています。福祉タクシー利用料金助成も、今は町単独費用補助とお話がありました。今後も同様に継続していきます。

Q 福祉タクシー利用料助成の増額は、利用者が増えたということですか。

A 福祉タクシーの利用対象者は66名で、選択制である燃料費の助成を希望されている方は257名います。

当初は福祉タクシー補助のみでしたが、燃料費の助成の希望が多いので、今後も二者択一の選択制でどちらかを選ぶ事になります。

町単独費用の事業となります。

すが、今後も継続して行きたいと考えています。

太陽光発電の有効利用は

Q 太陽光発電設備が庁舎及び学校に設置されましたが、自家使用に徹するか売電するか検討が必要に思われます。東電より買う電力料金は1kw当り16円、売電専用になると1kw当り42円となりますが検討の必要があると思います。現在不明な点があります。十分に調査してメリットの確認をしたいと思いますが。

A 東電の電気利用料金と売電の料金を精査して今後検討します。



庁舎屋上の太陽光発電パネル

3月定例議会では、新年度当初予算はもとより、国の大型補正に伴う補正等、多くの議案が提出されました。

【第4号】

防災会議条例及び災害対策本部条例に関する一部を改正する条例の制定について

※災害対策基本法の一部が改正され、防災会議の事務をつかさどる条例が変更されたことや、委員の規定が変更されました。

また、都道府県の災害対策基本法と同一であったものを、改正案では市町村の条例で定めるものとししました。

【第5号】

子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定について

※子育て支援センター建設に伴い、月の輪地区第3子育て支援センター（第五わくわくクラブ）を追加する条例を定めるものとししました。

【第7号】

新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

※国が公布した新型インフルエンザ等対策特別措置法の公布に伴い、各市町村に対して対策本部条例の制定が求められたことによって、滑川町災害対策本部条例に倣うかたちで作成されました。

【第18号】

一般会計補正予算(第5号)の議定について

※歳入歳出それぞれ9474万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ60億5457万4千円としました。

また、※繰越明許費として、以下の事業があります。

- 自動交付機制御盤修繕事業 (1,848千円)
- 公社當中尾下田地区土地改良事業 (55,521千円)
- 社会資本整備総合交付金事業 [町道131号線] (41,000千円)
- 町道108号線 [月輪中組] 舗装補修等工事 (15,000千円)
- 町道9314号線 [十三塚市堺道路] 舗装補修等工事 (6,000千円)
- エレベータ新設事業 [宮小] (40,805千円)
- 体育館LED照明器具等交換事業 [宮小] (6,300千円)
- 理科教育等設備備品購入事業 [宮小] (802千円)

- 学校外周^{のりめん}法面等整備事業 [福小] (2,504千円)
- 体育館LED照明器具等交換事業 [福小] (6,800千円)
- 理科教育等設備備品購入事業 [福小] (300千円)
- 学校外周^{のりめん}法面等整備事業 [月小] (3,130千円)
- 理科教育等設備備品購入事業 [月小] (789千円)
- 校舎外壁クラック修繕事業 [滑中] (730千円)
- 駐輪場増設等事業 [滑中] (1,000千円)
- 理科教育等設備備品購入事業 [滑中] (598千円)

※《繰越明許費とは》

歳出予算の経費のうち、その性質上あるいは予算成立後のなんらかの理由により、年度内に支出を完了することのできない見込みのあるものについては、あらかじめ議会の議決を経て、翌年度に繰り越して使用することができる。

毎会計年度の歳出予算はその年度内に使用することが原則（会計年度独立の原則）であるが、この原則をそのまま貫くとかえって実情にそぐわず、予算使用が不経済、非効率的になる場合がある。

【第19号】～【第24号】各種特別会計補正予算

【第25号】

平成24年度滑川町水道事業会計補正予算(第2号)の議定について

その他31議案

全42議案 原案通り可決



第五わくわくクラブ

我が町政を問う

一般質問

3月定例会では、4人の議員から10件の※一般質問が行われ、2日間にわたり、町政全般について活発な議論が展開されました。質問と答弁の要約内容は9ページから12ページです。なお、全文記録(議事録)については、6月中に滑川町ホームページ (<http://www.town.namegawa.lg.jp>) に掲載しますのでご覧ください。

●森田 泰雄 (9ページ)

- ・いじめ問題
- ・新設道路の隅切りは

●上野 廣 (10ページ)

- ・森林公園駅周辺の開発・整備を
- ・「武州ころ柿」の復活を

●上野 憲子 (11ページ)

- ・教育行政
- ・要介護認定者の認定書の発行は

●大山 尚美 (12ページ)

- ・災害時応援協定を
- ・障がい者の自立就労支援は
- ・空き家条例の制定は
- ・大気汚染物質 PM2.5への対応は

一般質問は
次ページより

※一般質問＝議員が町の行財政にわたる執行状況や将来への方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質すこと。

議員自治功労者表彰



田幡 宇市 議員

全国町村議会議長会より、特に功労のあった者として特別表彰を受けました。



森田 泰雄 議員

比企郡町村議会議長会より、議会議員として10年以上在職し、功労のあった者として表彰を受けました。



石川 正明 議員

埼玉県町村議会議長会より、議会議員として15年以上在職し、功労のあった者として表彰を受けました。

町人事



柳 克実 氏

副町長

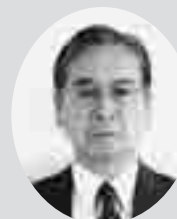
4月1日からの任期で選任されました。



小高 清子 氏

(任期 平成25年3月14日～平成29年3月13日)

公平委員会委員



稲葉 一正 氏

(任期 平成25年4月1日～平成29年3月31日)

監査委員



羽鳥 正則 氏



高橋 亮誠 氏

人権擁護委員

法務省への推薦が承認されました。



森田 泰雄 議員

問 いじめ問題を 小さいうちに解消するには

答 関係者全員で

取組み早期解決を図る

問 いじめ問題に関連した、自殺等がクローズアップされています。子ども達が集団になるといじめ問題が発生するものです。家庭内ではいじめを見抜けるのは母親ではないでしょうか。それには親子の信頼関係を強力にして、何でも話し合える関係を作り上げ家庭内で、いじめ問題が大きくなりないうちに対処する必要があります。

答 学校に保護者から、いじめの様子について申し出や調査依頼があった場合、先生間の綿密な調査が必要ですが、どの様になっていますか。

答 いじめ問題は学校のみで解決せずに、保護者の協力や教育委員会に報告し、関係者全員で取り組むこと、また、大きくならない内に処置する事が重要のため周知徹底を図ります。



広くとりすぎた巻き込み事故防止対策

問 埼玉県教育局より、いじめ早期発見の取り組みについて教員向けハンドブックが発行されていると報道されているがどの様な内容ですか。

答 New「Is」と題して、「あなたをいつも見守り、サインを見逃さないよ」という子どもへのメッセージや「愛情をもち、いじめに苦しむ子どもを救うのは「I」しかない」という教職員の強い使命感が込められている。いじめ問題の解消は、まさに一人一人の教職員にかかっている課題であり、いじめ問題に取り組み総てを集録したハンドブックです。

問 新設道路の隅切りは

答 警察の指導で 巻き込み事故防止対策

問 最近の道路設計施工について非常に無駄が発生しています。隅切りを多く取り施行後ポールを立てて狭くして、交通のさまたげを招く様な道路があります。隅切りを大きく取り、狭く使用させる理由は。

答 道路構造令にて設計し、国庫補助を受けるための指導で町の独自の設計は出来ません。交差点をポールで狭くしている理由は警察の指導で、歩行者の巻き込み事故防止対策です。

問 ポール設置に対する法的義務や巻き込み事故の文献等がありますか。

答 法的義務も文献もありません。

要望 ポールの設置義務や事故に対する文献もないようなので、ポールを外し、斑模様まだらにペイントを塗り注意を喚起する方法に変えられないか、警察と相談し、善処していただきたい。



上野 廣 議員

問 森林公園駅周辺の 開発・整備を

答 第5次総合振興計画のなかで検討

問 今年3月16日から東武東上線と東急東横線、横浜高速みなどみらい線との相互直通運転が開始されました。

東洋一の操車場があるといわれている森林公園駅が比企の中核駅として、益々存在価値が高くなっています。

そのような中で、森林公園駅周辺の開発・整備の現状は不十分であり、いままで懸案であった以下のような点がうかがえます。

答 駅周辺にある東武所有の遊休土地の活用状況は。

東武は自社物件を建設して運営することを考えていない。民間に貸して活用する方向。今後、協議を重ねていきます。

問 森林公園駅周辺の区画整理未整備地区についての計画は。

答 駅北口から月輪下地域、約24haが区画整理地域の指定されているが、住民の意向調査を行い、第5次総合振興計画のなかで検討していきます。

問 熊谷駅と森林公園駅を結ぶ路面電車構想のその後の進展は。

答 国、県に要望しているが、現状では、難しい状況。熊谷市と協力し、粘り強く要望していきます。



最盛期の武州ころ柿すだれ棚

問 「武州ころ柿」の復活を

答 技術を伝承し、復活させる

問 「武州ころ柿」は、滑川町羽尾を中心に、最盛期の昭和15年代には、組合で年間約100万個の生産がなされていましたが、現在では、「武州ころ柿」の製造法により干し柿を作り、出荷している農家は町内で一軒だけになりました。

比企地方の柿は、栗と同じように、どこの農家にもあり、地域の風土に合った歴史ある果物です。

特に、干し柿は健康に良い食材であり、健康宣言した滑川町にふさわしい食材です。滑川町の柿栽培の現状、柿文化の継承、今後の町の方針についてうかがいます。

答 直売所への柿の出荷者は42名で、その中で、干し柿出荷者は14名です。「武州ころ柿」の製造技術を伝承し、品質の良い干し柿を生産・出荷できるようにして、「武州ころ柿」の復活に努力していきます。今後は、耕作放棄地と放置されている美濃柿を活用し、「武州ころ柿」の生産に取り組んでいきます。

なお、健康食品として、柿酢の生産も研究していきます。



上野 憲子 議員

教育行政のしくみ

問 東京都調布市の小学校で、昨年12月に、乳製品にアレルギーのある5年生女児が、給食を食べた後に死亡しました。児童生徒100人に2〜3人は食物アレルギーがあるという文科省の調査結果があります。町の現状は。

答 食物アレルギーのためお弁当を持参している子は、幼稚園で1名、滑川中学校で1名です。食品単品でアレルギーを持っている子は、幼稚園3名、小学校45名、中学校17名です。

問 町内の保育園における食物アレルギーの状況調査では、ハルム保育園2名、第2ハルム保育園8名、白い馬保育園3名でした。それぞれの園で、アレルギー児に対し、除去食や代替食など、個々に対応しているとのこと。学校では、どのように行なっていますか。

答 養護教員や担任が対応し、除去食を行なっています。牛乳でアレルギーのある場合は、麦茶などで代替し牛乳代を返還しています。

問 食物アレルギー対策を早急に

答 今後の課題として認識



楽しい給食風景

問 緊急時に備え、アナフィラキシーショックに對し用いられる自己注射薬である「エピペン」を、全教職員が使い方の講習を受けるべきだと思いますが。

答 現状では行っていないと思いますが、今後の課題であると認識しています。

問 町における就学援助を受けている児童生徒は増加傾向にあります。国の生活保護基準が引き上げられると要保護・準要保護児童・生徒の認定基準も引き上げられ、就学を困難にする可能性を高めるものですが影響は。

答 生活保護基準が引き上げられると、人数的には影響が出ると思いますが、動向をみながら、学校生活に支障がでないように、学校や地域で見守ってまいります。

問 要介護認定者の認定書の発行は

答 平成23年度より実施

問 要介護認定を受けている本人や扶養親族に認定者がいる場合、町長が認めれば障がい者控除が受けられます。この制度は意外と知られていませんが、制度の認定基準を改善したりして、活用できる制度にしなければならぬと考えますが。

答 平成23年度から、滑川町特別障がい者に準ずる要障がい者等の認定に関する要綱をつくり実施を始めました。町の広報やホームページで周知をしています。



大山 尚美 議員

問 災害時応援協定を

答 地元の英知を
集約していきます

問 東日本大震災後、自治体と民間事業者の応援協定の締結は年々増えていきます。町の状況は。

答 災害時応援協定は、急速に高まっており、町でもすすめている所です。物資輸送、生活物資、賃貸住宅等結んでいます。今後、町内の民間業者と前向きに取り組んでいきます。

問 どういう企業団体に働きかけていきますか。

答 地元のし尿・土木等専門家の英知を集約していきます。

問 協定文章はどういう先進地のものを参考にしていきますか。

答 今後、討議していきます。

障がい者の自立就労支援は

問 障がい者優先調達推進法が本年4月から施行されます。障がい者施設の受注機会の増大を図るものですが、町では仕事の依頼や定期的に購入している物はありませんか。また、在宅就業障がい者への仕事の発注はありますか。

答 町には4ヶ所の事業者があります。一事業所に町舎のゴミひろいを委託しています。購入物はありませんが、情報発信館や滑川まつりで販売コーナーを設けています。在宅就業障がい者の発注はありません。

空き家条例の制定は

問 近年、経済事情や高齢化等に伴い適正に管理されない空き家が増えていきます。自然災害による倒壊のおそれのある空き家や、資材や草木、ゴミの適正管理はされていますか。

答 未調査の部分もありますが、住民票が無く住める状態の家が72軒あります。雑草の苦情はありました。

問 侵入や火災はありましたか。

答 火災は平成23年度に1件ありました。空き家は所有権の問題がありますが、何かあれば所有者に確認し適正管理を促しています。条例に関しては、今後協議の場を設けていきます。



長年の空き家

問 大気汚染物質 PM2.5 への対応は

答 正しい情報をより早く伝えます

問 PM2.5の大気汚染が心配されています。町の対応は。

答 測定器購入までは考えられませんが、県内に22局あり、これを有効に利用します。熊谷市役所や17号バイパスに設置されたものを活用し、正しい情報をより早く住民に伝えていきます。

「政務調査費」が政務活動費へ 名称変更されました。

地方自治法の一部を改正する法律が平成24年9月5日に公布されたことによる改正です。使途についてはこれまでの調査研究に加え、「その他の活動」が追加されました。

また経費の範囲については別途定めることとされ、議長がその透明性の確保に努める旨の規定が加えられており、「その他の活動」について充当可能となった経費は、「議員としての補助金の要請・陳情活動等のための旅費」、「議員として地域で行う住民相談・意見交換会の経費」、「会派単位の会議に要する経費のうち調査研究活動に資するとされていた活動」を今回経費の対象とすることができるものとしています。

なお、政党活動、選挙活動、後援会活動、私人としての活動は、これまでと同様に条例によっても認められないものとなります。滑川町議会政務調査費の一部を改正する条例の制定において、規定されました。

なお、この条例は平成25年3月1日から施行されています。

政務活動費とは・・・

議員の調査研究のための必要経費として、議員あるいは会派に対して交付される金銭のことです。滑川町では、町の条例で「月額2500円」と定め交付しています。

平成24年9月の地方自治法の改正により、「政務調査費」という名称は「政務活動費」に変更されました。また、議員活動の活性化を図る目的で、主に次の点に変更となっています。

- ① 交付の目的、使途の範囲が調査だけでなく、その他の活動・・・主に議員が行う要請又は陳情活動に要する経費などを新たに対象にしています。
- ② 議員は、交付された「政務活動費」を調査研究その他の活動に使い、年度の終わりに議長に「収支報告書」を提出することが義務づけられています。
政務活動費に残額があればその額を返還します。
- ③ この政務活動費の使途範囲については、全国のそれぞれの議会で条例により独自に定めています。

滑川町でも、平成25年2月の臨時議会において「滑川町議会政務活動費の交付に関する条例」において定めています。

平成25年度 滑川町立幼稚園・小中学校
入園・入学おめでとう



福田小学校20名の新入生

滑川幼稚園
入園100名
全体園児数
305名

福田小学校
入学20名
全体児童数
135名

宮前小学校
入学61名
全体児童数
425名

月の輪小学校
入学111名
全体児童数
637名

滑川中学校
入学152名
全体生徒数
448名



議会広報編集委員会 風景

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。次回の定例会の開会予定は6月4日(火)です。

編集後記

本年は、例年になく桜の開花も早く、卒園、卒業式、入園、入学式を彩り、祝っております。

第185回定例会が3月5日に開会され、本年も予算審査特別委員会を設置し、25年度の予算案が執行部より示され、限られた予算で最大の効果を求めて議論されました。新規事業として20件の案件が提案され、主なものは滑川中学校のプレハブ校舎借上料、宮前小学校プール新設工事設計委託料等が可決され、4月1日より平成25年度がスタートしました。

今回の109号で現編集委員の任期を迎えます。

町民のみな様や関係者のご協力に深く感謝申し上げます。後記と致します。

田幡

議会広報発行対策特別委員
(正) 伊東康夫 (副) 大山尚美

上野憲子 長谷川元夫

石川正明 北村徳章

北堀一廣

発行責任者

議長 田幡宇市